

ソロプチミスト日本財団 平成27年 年次贈呈式

式典 プログラム



平成27年11月11日

サンメッセ香川

公益財団法人ソロプチミスト日本財団

## 公益財団法人 ソロプチミスト日本財団

当財団は、昭和54(1979)年3月24日に厚生省(現 厚生労働省)を主務官庁とする民法上の公益法人として誕生しました。そして平成の公益法人改革において、内閣総理大臣より公益認定を得て、平成24(2012)年3月1日に内閣府を行政庁とする公益財団法人へ移行しました。

当財団は、ソロプチミスト精神に則り、さまざまな奉仕活動に対する援助や協力を行うことにより、より豊かな生活を実現し、国際相互理解の促進に寄与することを目的に、顕彰事業や援助事業などを実施しています。各賞の顕彰や援助金の贈呈は、毎年日本各地で開催する年次贈呈式において執り行っています。

国際ソロプチミストは、管理職・専門職に就いている女性の世界的奉仕団体です。混迷を深める世界情勢にあって、人権と女性の地位を向上する活動をしています。

当財団は日本のソロプチミスト会員により設立され、日本におけるソロプチミストの奉仕の活動を継続・発展するために努力してまいりました。

これからも、公益財団法人として確固たる基盤の上に、公益事業を進めてまいります。

## 目的と事業

当財団は、ソロプチミスト精神に則り、さまざまな奉仕活動に対する援助、協力を行うことにより、より豊かな生活の実現及び国際相互理解の促進に寄与することを目的に、以下の事業を実施しています

- (1) 女性の人権の尊重並びに地位向上を目的とする活動への顕彰及び支援
- (2) よりよい社会の形成と発展を推進するための活動や不当な差別及び偏見を抑止する活動に対する顕彰及び支援
- (3) 男女共同参画社会の推進活動に対する顕彰及び支援
- (4) 児童及び青少年の健全育成活動に対する顕彰及び支援
- (5) 自然環境保護活動に対する顕彰及び支援
- (6) 開発途上国等への国際協力活動に対する顕彰及び支援
- (7) 人々の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする活動に対する顕彰及び支援

[定款より]

## 公益財団法人ソロプチミスト日本財団

〒600-8216 京都市下京区塩小路通烏丸西入ル東塩小路町 614

新京都センタービル 5階

Tel 075-341-8825 Fax 075-341-0084

URL <http://www.soro-jpf.net>

## 学生ボランティア賞

福島県立会津農林高等学校 早乙女踊り保存クラブ	SI ばんげ 推薦
福島県立喜多方東高等学校 家庭クラブ	SI 喜多方 推薦
山形県立山形東高等学校 生徒会	SI 山形 推薦
相模原市立青根中学校 生徒会保健福祉委員会	SI 厚木 推薦
筑波大学 学び場さくら塾	SI つくば 推薦
都留文科大学 カンボジア教育支援団体Plenty	SI 山梨 推薦
長野県松本蟻ヶ崎高等学校 ぎんが祭バザー係	SI 松本 推薦
塩尻市立檜川中学校 生徒会福祉委員会	SI 塩尻 推薦
兵庫県立西脇北高等学校 ボランティア部	SI かすぎ野 推薦
高校生災害復興支援ボランティア派遣隊	SI 広島、いつくしま 推薦
島根県立大学出雲キャンパス がんを考える学生の会 「てんしんはん」	SI 出雲 推薦
山陽女子中学校・高等学校 生徒会	SI 倉敷 推薦
学生国際協力団体J-HEARTY	SI 福岡 推薦
Project 架け橋	SI 福岡-南 推薦
長崎県立壱岐高等学校 ヒューマンハート部	SI 壱岐 推薦

## ソロプチミスト日本財団 活動資金援助

福島県立相馬農業高等学校 生産環境科草花専攻班	SI 原町 推薦
市民団体「イルファー釧路」	SI 釧路アミテイ 推薦
特定非営利活動法人 ぶどうの家	SI 山形 推薦
あつぎ・クロス・ゆう (A・C・Y)	SI 厚木 推薦
特定非営利活動法人 ひこばえ	SI 前橋 推薦
ここカフェ@川越	SI 埼玉 推薦
女性の人権サポート・くろーばー	SI 山梨-芙蓉 推薦
親子支援ネットワーク ひだまり	SI 彦根 推薦
特定非営利活動法人 リボン・京都	SI 奈良-まほろば 推薦
びわこ☆1・2・3 キャンプ 実行委員会	SI 近江八幡 推薦
特定非営利活動法人 姫路こころの事業団	SI 姫路 推薦
チャイルドハウス ひなたぼっこ	SI 光 推薦
Goso Goso Club.com	SI 益田 推薦
風疹をなくそうの会「hand in hand」	SI 玉野 推薦
唐津人形浄瑠璃保存会	SI 唐津 推薦
特定非営利活動法人 フードバンク北九州ライフアゲイン	SI 北九州 推薦
ぐる～ぶ・ゆるり熊本	SI 熊本 推薦
認定特定非営利活動法人 ザンビアの辺地医療を支援する会	SI 宮崎-ひまわり 推薦

(敬称略)

- ①九州在住唯一の人形浄瑠璃指導者である竹本鳴子太夫を中心とする有志が2011年、伝統芸能を継承するため保存会を設立。小学校で児童に指導する他、福祉施設への慰問、イベントでの公演などを行っている。
- ②有志が立ち上げた会として行政の支援を受けず、会費のみで運営している。大道具や小道具は手作りし、賛同者の人形基金で文楽人形5体を購入できたが、会費値上げは難しいことから、人形の修繕費や着物縫製費、背景画作成費などが不足している。また、技芸向上のためのOA機器購入を希望している。



### 特定非営利活動法人 <sup>きたきゅうしゅう</sup>フードバンク北九州ライフアゲイン



- ①品質や安全性に問題がないにもかかわらず廃棄される賞味期限内の食品をメーカーや小売店から譲り受け、2013年から、生活困窮者や福祉施設などに無償で提供する活動を行っている。
- ②無償で寄贈された食品を無償で配給する活動のため収益は得られないが、食品を安全に扱うためには、保管倉庫や冷凍冷蔵庫、配送時の保冷バッグなどが不可欠である。食品提供者から厚い信頼を得るために、衛生上の設備環境を整える必要があるが、会費と寄付では賸りきれないため援助を必要としている。

### ぐる〜ぷ・ゆるり <sup>くまもと</sup>熊本

- ①DV被害者支援先進国である米国の事例を参考に日本向けに開発された親子支援プログラムを6年前から実践し、効果を挙げている。支援者養成講座の開催や、デートDVの予防、啓発の講演活動など、DV被害に対する理解を深め支援の輪を広げる活動も行っている。
- ②親子支援プログラムは参加者の費用負担なしで実施しており、今年度も希望者が2組いる。また被害者をより深く理解するための支援者養成講座は、会場費や講師謝礼などの経費がかかる。これらの支援活動を安定的に継続するため援助を求めている。



### 認定特定非営利活動法人 <sup>へんちいりょうしえんかい</sup>ザンビアの辺地医療を支援する会



- ①ザンビア共和国のへき地を対象にした無償の巡回診療を行っている他、疫病防止のための啓発活動や現地スタッフの養成を行っている。感染病予防には安全な飲料水の確保が重要であることから、昨年には地域で初となる深井戸の掘削を行い、飲料水を確保した。当初は、活動を始めた女性医師が全ての費用を自己負担で賸り、現在も不足分を個人で負担している。
- ②巡回診療で最も経費を要するのが医薬品代であるが、為替変動や現地の物価上昇によりその費用が大幅に上昇しており、購入資金の援助を求めている。